

つなまち

2014年1月22日発行

No.192

TSUNAN-MACHI

- 議長新年のあいさつ・人事・条例の改正 ②
- 請願・意見書、補正予算…………… ③
- 一般質問…………… ④～⑧
- 委員会レポート…………… ⑨～⑩
- 平成26年度建策要望事項…………… ⑪
- 町民登場 このひとに会いました…………… ⑫

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 河田 強一
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。



老人クラブ連合会の「華・花」

平成25年第4回町議会定例会が、12月11日から13日までの3日間開催されました。初日と2日目に一般質問を9人が行い、激動する農政や、病院問題の改善に向けてなど活発な質問が行われました。最終日は、3つの人事案件、条例改正、補正予算等を可決し、2件の請願を採択、国への意見書提出が可決され、今年最後の定例会を閉会しました。



津南町議会議長 河田 強一

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。新しい年が町民の皆様にとって健やかで平穏な年でありますよう、心からお祈り申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、降雪量が多く前年に引き続き大雪でありましたが、断続的な降雪であったことから積雪は前年を下回り、融雪は平年並みでありました。

農業関係において、稲作では、春先の天候不順で田植え時期が例年より遅くなりましたが、その後好天に恵まれ、一時は出穂時期が早まると予想されました。しかし、梅雨末期の長雨により、例年通りの時期となり、JA津南町によりますと一等米比率86.7%ということとなりました。

畑作では収量・品質に一部バラツキがあったものの、ほぼ平年並みではありましたが、依然として価格の低迷が続く、農家経営を苦しめています。また、TPP交渉の決着は年を越え、その内容、影響について不透明な状況にあります。

当町でも少子高齢化が急速に進み、基幹産業である農業や商工観光業の振興、そして後継者対策・雇用対策、

所得向上対策が待ったなしに強く求められています。

今年3月には苗場山麓ジオパークの認定申請が行われることとなっており、認定の有無にかかわらず、わが町津南の素晴らし

い歴史・文化・伝統を後世に伝え残すことが重要です。議会では、町民の意見・要望を町政に反映すべく真剣な議論を行っております。常に町民のための議会であることを念頭におき、議員一丸となって努力する所存であります。

今年一年、どうぞよろしくお願い申し上げます。

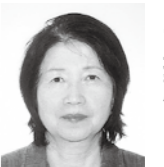


人事

人権擁護委員候補者として推薦

(全員賛成)

渡邊 トシ氏(反里口)
平成14年4月より
人権擁護委員



固定資産評価審査委員会委員選任

(全員賛成)

大澤 隆氏(外丸)
平成16年12月より
固定資産評価委員



教育委員会委員任命

(全員賛成)

丸山 直子氏(外丸)
平成14年4月より
体育推進委員



条例の改正

町職員の給与に関する条例の一部改正について

(賛成13 反対2)

要旨 武力攻撃災害等及び新型インフルエンザ等緊急事態に派遣された職員に手当を支給することを加えた改正です。

町医学生等修学資金貸与条例の一部改正について

(全員賛成)

要旨 貸与を受ける者に「準看護師」を加えた改正です。

特別会計

国民健康保険特別会計

補正額 4,369万円

総額 12億6,204万円

(主な内容) 療養給付費負担金増

介護保険特別会計

補正額 77万円

総額 15億5,223万円

(主な内容) 介護予防サービス等給付費増

農業集落排水事業特別会計

補正額 208万円

総額 3億9,945万円

(主な内容) 施設電気料増



9月の台風、豪雨による被害(大赤沢)

請願

みなさんからの

地域団体からの請願2件を審査し、ともに全員賛成で採択しました。

採択した請願・意見書を国に提出

免税軽油制度の継続を求める請願書

請願者 北陸信越索道協会上越地区部会

紹介議員 津端眞一、風巻光明

意見書の要旨

スキー場で使うゲレンデ整備車、降雪機等を使う軽油が免税となっており、この制度が無くなれば、スキー・スノーボード等の冬季観光産業が大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難となる。市町村経済にも計り知れない影響を与えることとなる。よって、国においては、観光産業や農林水産業等幅広い産業への影響にかんがみ、免税軽油制度を継続するよう強く要望する。

TPP交渉に関する請願書

請願者 津南町農業協同組合

代表理事組合長 瀧澤勝

紹介議員 石田タマエ、村山道明

意見書の要旨

・国権の最高意思決定機関である国会の決議等を遵守し、農林水産分野の重要5品目等の聖域が確保できないと判断した場合は、即刻交渉から脱退すること。
・TPP交渉及び日米二国間の平行協議について、進捗状況等を国民へ情報開示することともに、説明責任を果たすこと。



TPP交渉反対集会(日比谷野外音楽堂)

補正予算

補正予算を審議し原案どおり可決しました。

一般会計

補正額 1億2,443万円

総額 67億4,814万円

主な歳入

・豪雨災害復旧補助金 8,260万円

主な歳出

・ひまわり保育園用地購入費 2,426万円

消防費

・ドクターヘリ基地整備工事費 850万円

災害復旧費

・住宅用防火対策設備(消火器)補助金 100万円

農業用施設災害復旧費

・農業用施設災害復旧費 7,030万円

公共土木施設災害復旧費

・公共土木施設災害復旧費 3,200万円





所得向上のため臨時職員の格上げ策を

町長：待遇改善は意識向上に重要なこと

風巻 光明 議員

町長 臨時職員の力がなければ町は成り立たないことは良く理解している。切替えには正規の手続きが必要。待遇改善も検討しているが、今後もあり方を検討する。

問 民間企業では派遣社員や準社員などで優秀な人を定期的に正社員に格上げしている。役場臨時職員も同様にし、モチベーションを上げるべきだが、考えは。

臨時職員の正規化は

町長 給与所得は地場産業の育成など産業政策で相対的に上げていく。また農業所得については、農産物の有利販売と生産者の組織化などにより、生産費の低減を図り所得向上につなげたい。

問 町長の「強い津南町」で「町民所得の向上」を掲げている。しかし、過去数年間給与・農業所得とも低下している。また津南町の平均所得も、県内では下から2番目だ。所得は税金に結びつかなければならぬが、これも伸びていない。今後の向上策を問う。

町民所得の向上策は

問 都会で働き、津南に戻りたくても「勤める所がない」とよく耳にする。今後思い切った対策は。



大人になったらまた津南町へ帰ってきてネ

町長 求人情報が急で、Uターン者に対応できないことが多い。半年前に大規模にPRをするなどの仕組み作りを提案する。地域振興課長 ハローワークとともに、求人を探し出す仕組みを検討する。

問 求人情報が急で、Uターン者に対応できないことが多い。半年前に大規模にPRをするなどの仕組み作りを提案する。

求人情報の早い広報を

町長 都会と比較し、若者の求める給与水準や職種を満たすことは困難。今後、特産品などの振興策を展開したい。

若者定住に抜本対策は

問 都会で働き、津南に戻りたくても「勤める所がない」とよく耳にする。今後思い切った対策は。

農政変更は小農切り捨て政策では

町長：産地間競争で生き残る

大平 謙一 議員

町長 米価が下がると農業所得に頼る大規模農家も困る。また小規模農家は組織化を、大規模農家はさらなる規模拡大によるコスト低減が必要と

問 小規模農家切捨てではないか。

町長 すぐに減反廃止とは考えていないが、米価下落は避けられないと思う。魚沼米が下がれば米価全体が下落する。津南町認証米のように、品質向上と生産コストの引き下げにより生き残ることが重要と考える。需給のバランスが調整できれば回復基調に戻ると予測する。

問 小規模農家切捨てではないか。

町長 今回の国の政策は、農家への個別所得補償などを無くし、小規模農家の生産意欲を削ぎ、離農させる政策と考える。津南町は小規模農家が大半だ。町長は小規模農家も町の大事な構成員と答弁している。少人数の大農家だけでは町は成り立たない。今後の町の農政をどのように考えているか、町の農業をどのように守るかを問う。

大規模農家だけでは地域は守れない

考える。

問 5年後・10年後の津南農業の未来像は。

町長 産地間競争で淘汰される産地によって需給ギャップが解消すれば、米価もある程度回復する。また、地球規模では人口96億人と予想され、食料不足は深刻なものとなり、整備された農地、豊かな水資源を持つ津南町農業は、その前途を嘱望できる成長産業の一つと考えている。



津南町の農業の未来像は

スバリー 町政を問う!



一般質問 (9議員)

- ① 草津 進 議員(4ページ) 上村町政2期目に向けた今の気持ちは
- ② 風巻 光明 議員(5ページ) 所得向上のため臨時職員の格上げ策を
- ③ 大平 謙一 議員(5ページ) 農政変更は小農切り捨て政策では
- ④ 恩田 稔 議員(6ページ) 過疎対策を問う

- ⑤ 石田 タマエ 議員(6ページ) 全町スクールバスの実施を
- ⑥ 柴原 洋子 議員(7ページ) TPP撤退へ、農産物見直しは
- ⑦ 藤ノ木 浩子 議員(7ページ) 看護師確保に全力を
- ⑧ 桑原 悠 議員(8ページ) 財政調整基金の5年後の見直しを聞く
- ⑨ 村山 道明 議員(8ページ) 認証米制度の継続を

上村町政2期目に向けた今の気持ちは

町長：任期を大胆かつ緻密に、全力で努める

草津 進 議員



選挙公約道半ばと

問 豪雪、大雨、地震等相次ぐ自然災害に対し、スピード感を持った対応であった。選挙公約は道半ばと思うが、今後の取り組みを問う。

町長 選挙公約である「強くどこよりも優しい町づくり」に全力で取り組んできた。目標に向かって着実な歩みを刻んでいる。残された任期を大胆かつ緻密に、全力で努める。

「全国植樹祭」町としての取り組みは

問 平成26年6月1日に第65回全国植樹祭が、長岡で開催される。「未来へつなぐ森づくり」に対し、津南町の森林に関心を深めるイベントについて問う。

町長 復興から創造へをテーマとして長岡市(旧川口町)で天皇皇后両陛下をお迎えし、記念植樹祭を行うことになっている。中越大地震被災地を中心として長岡、川口の他に魚沼市、十日町市で記念植樹する予定である。津南町からは10人の招待者が参加することになっている。津南町としての独自の計画はしていない。



環境保全森林に感謝



生産調整(減反)廃止の対応策は

問 農家の保護を優先してきたコメ対策、今後は自由競争へと舵を切るが、認証米制度はいままで続けるのか。

町長 認証米比率の向上を図り、制度は将来に渡って必要と考える。

昨年度は、湯沢町で「魚沼森の感謝祭」が、関連イベントとして開催された。



TPP撤退へ、農産物見通しは

町長：5品目の例外を守る交渉を強く望む

桑原 洋子 議員

問 原発に頼らず再生可能エネルギーの普及、低エネルギー社会へ移行することが必要。

再生エネルギーの推進に補助金を

町長 平成24年度の販売額は43・2億円、平成26年度の目標は55億円。マーケティングやアスバラの増反に取り組み。

問 町振興計画の農産物販売額の見直しを問う。

町長 政府は農産物5品目の例外措置に向け、厳しい交渉をしているが結論は出ていない。公約実現できるように交渉することを強く望む。

問 TPP交渉は年内妥結に至らなかった。安倍政権は「丁寧な情報提供」「農産物5品目を聖域にする」と公約しながら関税撤廃に踏み込んだ。この状況の中で、政府、自民党は米の生産調整廃止に踏み出した。減反交付金も来年から半減し、5年後に廃止する。関税例外も10～20年の経過措置でゼロになるといい、津南町はくらしと農業を守れない。今こそTPP反対の行動を起こす時ではないか。

TPPでくらしと農業を守るのか

町長 TPP交渉は年内妥結に至らなかった。安倍政権は「丁寧な情報提供」「農産物5品目を聖域にする」と公約しながら関税撤廃に踏み込んだ。この状況の中で、政府、自民党は米の生産調整廃止に踏み出した。減反交付金も来年から半減し、5年後に廃止する。関税例外も10～20年の経過措置でゼロになるといい、津南町はくらしと農業を守れない。今こそTPP反対の行動を起こす時ではないか。



太陽光発電でエコ住宅(飯田市)

町長 非融雪屋根との公平性、整合性を考慮すると創設は難しい。現行の要援護世帯への除雪支援のあり方として、新年度に向け、提言を十分取り入れた中で拡充を図りたい。

融雪屋根の燃料費補助を

町長 大雪の年は灯油代が30万円50万円かかる、そのため手掘りしているという現状がある。雪下ろし中の落下防止の観点から融雪屋根の燃料費補助を。

太陽光発電などに補助制度を。国がしっかりと具体的な計画を立ててやってほしい。豪雪地の太陽光発電などはもう少し研究、検討が必要。



過疎対策を問う

町長：人口減少に対応した町づくりを進める

恩田 稔 議員

集落維持の具体策は

問 住民との懇談会の中で、過疎化による集落維持への不安が相当出ていたことについて、どのように考えるか。

町長 北陸新幹線の開通の影響、第6回大地の芸術祭の開催、苗場山麓ジオパークの認定など地域と一体になり、住民を巻き込み、今後どのような地域づくりが良いのか、また、どんな地域にしたいのか、十分に議論しながら真正面からぶつかっていききたい。

問 国、県にはどのようなことを要望して行くのか。

町長 地方交付税の所要額確保はもとより、定住に関する事、地域間交流の促進、伝統文化の継承発展、人材確保など、集落の持つ機能の維持に関することは全て要望していくことは当然であるが、地域レベルでも積極的に検討していただき、具体的なものが見いだされれば、その段階で要望したい。

問 町独自のきめ細かな支援策が必要になってくるのではないか。



高齢化が進む山間地集落

ている組織がある。それぞれの組織と意見交換を密にする中で、お互いの力をうまく組み合わせ、きめ細かな支援策を検討する。

問 地域おこし協力隊については今後どのように進めるのか。現在1人の方が、がんばっているが、増員の考えは。

町長 初めて受け入れた地域おこし協力隊は結束地域で精力的に活動していただいている。年度末には1年間を検証し、他地域への配置も含め積極的に進める方針である。

看護師確保に全力を

町長：看護師養成所設置を国・県に要望

藤ノ木 浩子 議員

問 病院経営は在宅医療を強め、介護と連携で収益増加につな

病院経営の困難は

町長 経営的に難しい状況にあるが、看護師不足も要因の1つである。現行の修学資金の内容の充実を図りながら、看護師養成所設置を国県に強く要望しているところである。

問 病院経営は公私を問わず診療報酬のあり方抜きには検討できない。入院が長くなる

町長 経営的に難しい状況にあるが、看護師不足も要因の1つである。現行の修学資金の内容の充実を図りながら、看護師養成所設置を国県に強く要望しているところである。

問 津南病院の過去23年間の経営財務の推移を整理し、同じ高齢化が進む中山間地の県立松代病院、津川病院の経営実態と比較検討したところ、

比較すると入院、外来とも減っている。病床利用率が昨年66・5%に急落し、経営的に難しい。苦戦の原因としては看護師不足が一因としてあると思うが、確保に全力を上げる決意は。また、十日町病院の建て替えと一体に十日町地域に看護師養成所の設置を求めたいと考えているがどう



地域医療を守る津南病院

他に、子ども子育て支援新制度への対応を質問しました。

全町スクールバスの実施を

教育長：今後の大きな検討課題

石田 タマエ 議員

新年度の福祉施策は

問 透析治療者の通院手段を昨年12月議会では「調査をする」との答弁であったが、調査結果と新年度から実施がでないかを問う。

町長 今年度調査を実施した結果、通院に苦慮している方がおられる。病院への送迎を実施してくれる団体等の環境が整い次第、町も支援ができるよう検討を進める。

問 介護予防は住民にも行政にとっても先行投資であり、積極的に進める必要があるが、遅々として進まない。また、ボランティアの協力が欠かせないが、支援者の処遇改善について新年度の取り組みを問う。

町長 2次予防対象者の絞り込み作業を今年度中に実施する。その上で、津南病院の歯科の協力を得ることなどについて検討する。ボランティアの処遇改善など、継続できるような検討を進める。

今後の交通対策は

問 町内小学校の統廃合が進められているが、通学手段と



バスに乗りこむ子どもたち

してスクールバスを望む。将来的に全町スクールバスの実施ができないか。

教育長 平成27年度統合予定の中津地区・外丸地区については、児童の利便性と安全性をどのように確保できるか検討する。スクールバスは誰もが望むところであるが、財政との兼ね合いがあり、今後の大きな課題である。

問 十日町病院や福祉施設の利用者が今後更に増えると考えられる。病院利用者や障害福祉施設利用者に配慮した交通体制の構築を問う。

町長 十日町病院への乗り入れの要請等今後の課題と捉えている。

●各学年に応じた役割がスムーズに実施できる。
 ●大規模校では
 ●あいさつのできる子とできない子が両極端
 ●上級生と下級生の関係がづくりにくいため、全校を4つの縦割りにした班編成の取り組みを実施している。

●素直で純朴だが自信を持ってない。
 ●子育て関連の資料を全戸配布して、家庭と保育園と学校の連携を深めている。
 ●少人数なので、他人との関係づくりが難しい。
 ●小規模校では

●各学年に応じた役割がスムーズに実施できる。
 ●大規模校では
 ●あいさつのできる子とできない子が両極端
 ●上級生と下級生の関係がづくりにくいため、全校を4つの縦割りにした班編成の取り組みを実施している。

町内小学校視察懇談会

●委員長 草津 進

●各学年に応じた役割がスムーズに実施できる。
 ●大規模校では
 ●あいさつのできる子とできない子が両極端
 ●上級生と下級生の関係がづくりにくいため、全校を4つの縦割りにした班編成の取り組みを実施している。

中津小学校保護者の声

津南小学校公統合に向けて

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。

●自己を律する心を養うために、目標に向かって頑張る子を育成する。
 ●各学校の共通した課題は
 ●支援を要する子供が増えている。
 ●その他
 施設や設備の老朽化、冬季の除排雪についての課題が上げられました。また、食育の日をノーメディアデーとして、基本的な生活習慣を身に付ける取り組みがなされています。



財政調整基金の5年後の見通しを聞く

町長：分からないからこそ、厳しく見ている
 桑原 悠 議員

「入るを量りて 出づるを制す」だ

●財政調整基金（以下基金）は、年度によって生じる財源の不均衡を調整するために、財源に余裕がある年度に積み立て、不足する年度に取り崩す基金である。なるべく取り崩さず、経費削減と創意工夫により、今後も計画的に積み立て、先行きの見えない将来に備えるというものである。

●ここ2年ほどで、基金の取り崩しが増えているように見受けられるがどうか。

町長 平成23年度に1千4百万円、24年度に6千8百万円を取り崩したが、いずれも東日本大震災復興基金を積み立てたものである。今年度予算では2億7千3百万円を計上したが、そのうち8千8百万円も同様である。なお、年度中に余裕が出てくれば取り崩しを減らす。

●2年前から、当初予算の基金繰入額が多い。財源が不足してきているのではないか。
 総務課長 歳入を厳しく見積み上げているので、歳出を積み上げ、当初から基金繰入金で予算編成している。



町史、そしてこれから・・・

●要望が増えて、財源不足が生じているのではないか。
 町長 普段から、バラマキ的な政策はせず、緊縮型にするという考えである。必要な事業は精力的にやった。これだけ多くの事業をし、災害もあつた中で基金を蓄積できた。

●5年後の見通しと構想を聞く。
 町長 見通しは分からない。分からないからこそ、厳しく見ている。今後、設備更新が大変になる中で、どれだけ税財源を保持できるかと考えている。

●他に、国や県との人事交流の考えを質問しました。

認証米制度の継続を

町長：制度は継続・補助金は考える
 村山 道明 議員



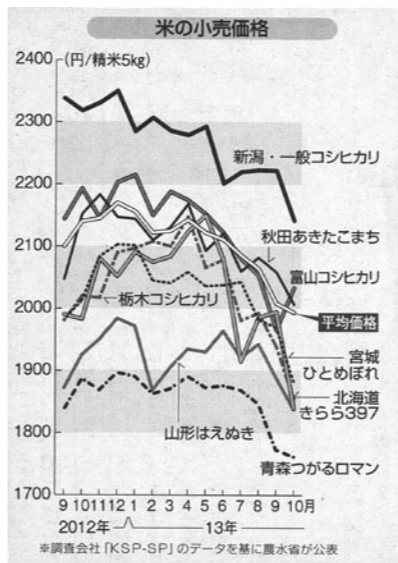
農家の切実な声を

●津南町認証米は、安全・安心で美味しい米と評価を受けて、特産米農家は「ブランド米」生産に精魂込めている。本制度及び補助金の継続が当然と考えるがどうか。

●産地間競争に生き残るためには、重要な制度だ。今後極めて農家の力になると思う。米政策が大きく変わることも、町が見込んでいた生産数量に対して認証米比率が低いことなどを踏まえ、来年度予算編成の中で取り組みを考えた。

飼料用米の町加算金は

●政府は、水田のフル活用に飼料米交付金を増額した。町は、担い手の加算金増額や、規模緩和をすべきだがどうか。
 町長 転作作物として、今後



米下落価格推移 (精米5kg)

●位置付けを明確にした中で、加算措置を講じていきたい。担い手基準は、田畑含め2ha以上の耕作者となっている。

農地応募に企業も参入

●農地集積バンク法で農業への参入を目指す一般企業も応募できる。農業委員会の意見聴取はどうなるか問う。
 町長 法律に即して、意見を聴き、取り上げるべき意見は取り上げていきたい。

町道の白線施工を

●区画線が消えている。特に交通量から、船山新田から反里口線間の整備を。
 町長 横断歩道、区画線は消えてしまうので公安委員会と連携して対策を講じていく。

建設課長

●区画線は、通学路を優先に道路維持費で整備していきたい。

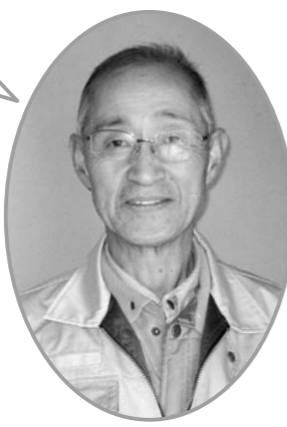
民生児童委員会との懇談会

●9月18日(水) 津南町役場

●各地域で住民の暮らしに関わって、援助・相談活動でご尽力をいただいている民生委員と、日頃の活動から見えてくる課題について懇談をしました。内容は次のとおりです。
 ●道路標識の老朽化など通学路の定期的な点検をしてほしい。
 ●高齢者の生活の場所の確保
 ●福祉アパートは4部屋しかないが、希望者が多いので対応を考えてほしい。(特に冬期間)
 ●4年生以上の支援児に放課後の居

通学路の安全点検について

●道路標識の老朽化など通学路の定期的な点検をしてほしい。
 ●高齢者の生活の場所の確保
 ●福祉アパートは4部屋しかないが、希望者が多いので対応を考えてほしい。(特に冬期間)
 ●4年生以上の支援児に放課後の居



民生児童委員長 樋口喜春さんより

●場所として児童保育を利用できないか。
 ●障がい者の短期入所施設の充実を望む
 ●学齢期を終えた障がい者の居場所を確保してほしい。
 懇談を終えて
 民生児童委員の皆様は地域の多様な課題と向き合っています。懇談の内容は我々議員の課題として、今後の津南町の福祉環境充実のために、住民の声を傾け、ともに課題解決を目指して行動していきます。

●民生児童委員は住民との信頼関係を築くことから始まります。関係が築かれる頃に任期が終わり、交替される方が最近多くみられます。
 ●個人のプライバシーにも関わる活動ですので、委員の皆様は1期のみと言わずに継続的に活動していただければ、協力をお願いします。

産業建設常任委員会 委員会レポート

●委員長 大平 謙一

津南町建築協議会懇談会

とき 10月11日(金)

ところ 津南町商工会

内容 町建築協議会と懇談会を開催し、次のような要望がありました。
①津南町住宅改修補助金制度の継続と内容変更の要望

- 住民にとっても協議会にとっても好評の制度であり、継続をお願いしたい。
- 一度利用した人も再度利用できるような制度を改正してほしい。
- 新築住宅でも省エネ住宅などに補助できないか。

②建物解体補助金の要望

●人口減少により空き家が増えてきている。解体には多額の費用が掛かるため、放置されるケースが多い。解体補助ができないか。

懇談を終えて

委員会では、住宅改修補助金制度の継続を26年度建築要望事項に含めました。また、空き家対策は重要と認識していますが、解体補助金には議論があり、検討課題としました。

県土木部公共土木事業の陳情

とき 11月21日(木)

ところ 新潟県庁

内容 上郷地区振興協議会と合同で陳情を行いました。

要望内容は次のとおりです。

- 国道一七号灰雨バイパスの早期着工
- 国道四〇五号整備促進(反里口)見玉間拡幅改良、見玉大赤沢間の安全確保、大割野旭町通りの歩道整備促進)
- 卯ノ木の県道拡幅改良
- 谷内中子の県道拡幅改良
- 所平の県道拡幅改良



県土木部長へ要望しました

- 1級河川釜掘川の河川整備
- 信濃川の堤防整備
- 正面の急傾斜地崩壊対策促進

陳情を終えて

県土木部からは灰雨バイパス、旭町通りの歩道について、前向きな回答がありました。委員会としては、今後も推移を見ながら要望を続けていきます。

議員定数特別委員会 委員会レポート

●委員長 大平 謙一

出雲崎町議会視察

とき 9月26日(木)

内容 出雲崎町の山崎信義議長から対応いただきました。その内容は次のとおりです。

「出雲崎町は、近隣町村との合併が破綻した後、財政改革特別委員会を設置し、議員定数について集中協議、削減することで一致した。削減人数を4人にするか6人にするかで議論があり、より削減とすべく6人減の10人とすることに決定した。しかし、議員定数10人での議会運営は非常に大変になった。

議会改革では一般質問で一問一答方式の導入や傍聴規則の改正、イン

町長へ要望 平成26年度 建築要望

学校統合後の体操着の補助と
スクールバス専用化は

お年寄り世帯の除雪対策を

町認証米制度の継続は

雇用対策は

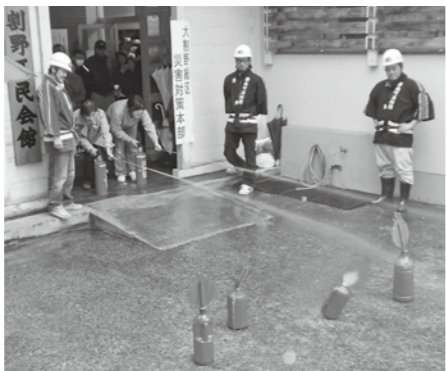
町議会では、平成25年11月22日に、来年度予算編成に向け、諸事業の要望書を町長に提出いたしました。これを受け、12月5日に町長から要望事項の回答をいただきました。主なものは次のとおりです。

●一〇メモ
建築要望とは
「建設的な政策要望」の略で毎年議会が町長に対して行う政策提案です。

〔総務関係〕

〔要望〕 消防防災の充実のため、集落ごとの自主防災組織の強化や避難場所を明確にし、訓練を行うなど周知徹底を。

〔町長〕 自主防災組織の経費は補助制度を創出し意識向上を図っている。訓練は集落、自主防災組織と連携し実施に努力する。



地域防災組織で「守ろう安全」

〔学校教育関係〕

〔要望〕 義務教育にかかわる教材費の保護者負担の更なる軽減を。

〔町長〕 平成27年度に統合する外丸小、中津小に対し、体操着の購入費の1/2を助成し負担の軽減に努めたい。
〔要望〕 学校統合に伴い、スクールバスの専用化を。

〔町長〕 義務教育の児童生徒の通学は万全を期して対応する。公共交通協議会や関係機関と十分協議し、より良い方法で実施したい。

〔福祉保健関係〕

〔要望〕 老人世帯等の除排雪対策及び人員確保のためのシステムの構築を。

〔町長〕 要援護世帯の除排雪については今後も支援を継続していきたい。人員の確保が各人で無理な場合は、シルバー人材や建設会社、森林組合に協力をお願いする。

〔病院関係〕

〔要望〕 医師・看護師の確保に一層努力を。

〔町長〕 医師確保については大学訪問を実施、看護師は、「新潟県看護のお仕事ステーション」で募集を行っている。新潟市で開催される病院紹介ブラスで就職説明会を行う予定である。

〔農林関係〕

〔要望〕 農林産物の生産拡大と津南町認証米制度の継続を図り、流通販売対策とPR活動に積極的な取り組みを。

〔町長〕 来年度は、アスパラガスの選別・結束施設をJAで導入し、併せて新植補助を実施する予定である。加速的な産地化対策を講じたい。津南町認証米は、来年度は2万俵を目標に取り組み、高品質をPRしていきたい。

〔要望〕 農産物の盗難対策を。
〔町長〕 警察にも野菜の作付け情報等を提供し、定期的に巡回していただいている。

ターネット中継(音声のみ)などを取り入れた。
また今年度から議会基本条例を施行している。議会の傍聴に町内の各団体に招待状を出して傍聴者を募っている。」とのことでした。

この視察を参考に、議員定数や議会運営について議論を重ねております。町民の皆様には、12月に議会アンケートを配布し、回答をいただいているところです。アンケートの結果は次号で公表いたします。

議会アンケート公表までのスケジュール

- アンケート最終締切 1月31日(金)
- アンケート集計 2月3日
- アンケート公表 4月発行「議会だより」193号

津南町の議員定数の推移

改選年月	議員定数
平成3年11月～	22人
平成7年11月～	20人
平成11年11月～	20人
平成15年11月～	18人
平成19年11月～	16人
平成23年11月～	16人

〔商工観光関係〕

〔要望〕 不況の中で、雇用の確保は緊急であり、企業誘致に積極的に取り組んでほしい。

〔町長〕 景気回復の先行きが見えない中、企業も雇用確保に懸命に取り組んでいる。町内では、業績が回復基調の企業もあり、積極的に雇用の確保を図るよう働きかけた。今後、産業の集中化を検討したい。

〔要望〕 北陸新幹線開通に伴い、飯山線にSL列車の運行の働きかけを。

〔町長〕 関係市町村で組織する飯山線沿線地域活性化協議会では、長野駅までのSL等の観光列車の運行が誘客に有効だと考えている。SL運行は、線路の路盤やカーブ改良などが必要であり実現は厳しいものの、ハイブリット車両の新型リゾートラインの定期運行をJR東日本に強く要望している。



狭山市での農産物PR活動

町民登場

このひとに会いました・・・



夫婦仲良く農作業

割野 村山 武夫さん 康子さん



流れ旅」ですが、今年もみさと園や恵福園などの施設に出向き、ボランティアで16回演奏しました。一生懸命聞いていただいて、とてもやりがいがあります。

Q. 今の生活は？

31年間消防署に勤めていました。全国消防庁、協会長から表彰もいただきました。定年後は家内と一緒に2町歩の田圃で米作りをしています。半分は他の人から頼まれて作っているのですけれど。嫁いだ2人の娘も農繁期には手伝いに来てくれてとても楽しいです。

Q. 趣味や特技は？

趣味はいっぱいありますが、その中でも、社交ダンスは割野や長生学園の仲間と30年以上も続けています。また大正琴も15年やっています。得意な曲は「風雪

Q. 福祉活動にも力を入れていると聞いていますが？

割野集落で「いきいきサロン」を3年前に立上げて月に一回体操やゲームなどを行っています。80歳くらいで老人クラブを上がると行くところが無くなってしまっているので、30人が参加しています。割野は男性が10人と多い方です。皆さんとても楽しみにしているようです。

Q. 割野集落で良いところは？

婦人会主催で3～27回忌の念仏を春の彼岸に集落全体で行います。会費も安くして、お斎では料理を持ち寄って余興などで盛り上げます。

Q. 町に望むことはありますか？

若い人が津南に戻ってこられるような施策に力を入れていただきたいし、男女の独身者が多いので縁結びをどうするか、良い策があればいいなと思います。



今年もよろしくお願いたします
 (左から風巻、兼原(洋)、村山、石田、滝澤、桑原(悠))

新年を迎え、今年1年間が町民の皆様にとって幸多い年でありますようお願い申し上げます。
 さて私たち議会広報委員6人も、まる2年が過ぎました。昨年10月に行われた住民議会懇談会の中で、「議会報がマンネリ化、見たくなくなるような工夫を」とのご指摘もありました。この間私たちも他の市町村の議会報の勉強会に出席して、よいところは取り入れて行こうと日々研究しておりますが、まだ満足していただくところまで至っていないかもしれません。
 今後は少しスタイルを変えたりして、町民の皆様に分かりやすく、見やすく親しみのある議会報にしていきたいと思っております。
 今年も頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。(風)

編集後記

平成26年 第1回定例会は、3月4日(火)からの予定です。